

News

Vol. 18

2022 / June

ご自由にお持ちください

Contents

2 事業管理者挨拶

阿蘇市病院事業管理者

阿蘇医療センター 院長 甲斐 豊

3 新任医師の紹介

常勤医師 2 名 / 非常勤医師 3 名が
新たに着任致しました

4 2022年6月からの 外来診療担当医表

5 新入職員紹介

心不全療養指導士の紹介

病院から在宅・地域医療まで幅広くサポートします

6・7 各部門における取組み

熊本県指定がん診療連携拠点病院として
骨粗鬆症治療チーム

認知症ケアチーム

阿蘇中部地域在宅医療サポートセンター

8 感染対策について



事業管理者挨拶

阿蘇市病院事業管理者
阿蘇医療センター 院長

甲 斐 豊



小波になるのを願いながらも 平常時の体制に戻す準備を

新型コロナウイルス感染症は収束しないまま令和4年度を迎えました。

第6波は感染力の強いオミクロン株の影響もあり感染は急拡大し、熊本県内でも特に高齢者施設、幼稚園・保育園、小・中学校で大規模なクラスターが発生しました。第5波に比べると、重症化率が低く、若年世代の軽症・中等症の感染者や無症状者が多くを占め、致死率も低下したのが特徴でした。それでも感染者数の急増で病床必要量は上昇し、また、持病のある高齢者の致死率は高いという傾向がありました。

まん延防止等重点措置は3月22日で解除されましたが、現状は感染者数が激減している状況ではありません。更なる新変異株の出現の可能性もありますし、先行きは混沌としています。専門家の意見をふまえた政治的判断も精度の高い見通しは立たず、この先如何なる効果のある対策を講じれば良いのか未だに最適解が得られないままです。欧米各国では感染状況が大きく改善した訳でもないのに社会的活動の平時化の動きもありますが、この判断も科学的根拠に基づいたものではなく経済立て直しが先行したもので、その結果の正否は不透明なままです。

第6波が落ち着いたら第7波への備えが必要にな

ります。小波になるのを願いながらも平常時の体制に戻す準備も必要になります。

また、長期間に及ぶコロナ下での生活環境の変化等に伴って、高齢者のフレイル加速・認知機能低下・口腔ケアの不徹底、受診控えで持病悪化、予防接種控えの小児感染症の不安、健診控えなどによる癌などの発見の遅れ、新型コロナ感染後の合併症・後遺症の訴え、様々な自己免疫疾患等のほか、精神的な不調や原因不明の体調不良の多発、既存するコロナ以外の感染症の表面化などが予測されます。それだけに臨床現場ではこれまで以上に柔軟かつ慎重な対応が求められることになりそうです。

今後、国産の治療薬やワクチンの開発・普及が期待され、新型コロナへの対応状況は変化していくと思われます。当面は感染症指定医療機関として感染管理認定看護師を中心に、これまでの知見や第6波までの対応経験を活かし、第7波に備えて、地域の医療機関、高齢者施設、教育機関、幼稚園・保育園等の関係者への感染防止に関する連携、研修・啓発にも更に取り組むこととしております。

今年度も引き続き一層のご指導・ご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

NEW DOCTOR / 新任医師紹介



いしだ としふみ
石田 俊史

循環器内科 常勤医師

- 学会・資格 ■ 日本循環器学会 循環器専門医
日本内科学会 認定内科医
医学博士
- 外来診療予定 ■ 毎週月・火曜（午前）
■ 睡眠時無呼吸症候群外来
月曜（14:00～16:00）

message

4月より阿蘇医療センター循環器内科で勤務させて頂いております石田俊史と申します。私は山口県下関市出身で、平成23年に熊本大学を卒業し、熊本医療センターで初期研修を行い、熊本大学循環器内科に入局し、循環器内科医としては熊本医療センター、熊本大学病院、熊本機能病院で勤務をしてきました。幼い頃から海を身近に感じながら育ってきましたが、阿蘇の山々に囲まれての生活をとても楽しみにしております。実は熊本大学病院勤務時代に、熊本地震の際に1日のみですが、阿蘇医療センターで勤務をさせて頂いた事があり、この度阿蘇医療センターで再び勤務させて頂くことに勝手ながらご縁を感じております。阿蘇地域の皆様に貢献できるように、日々研鑽を積みしたいと思いますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



ひらが まどか
平賀 円

内科 常勤医師

- 学会・資格 ■ 日本内科学会
日本プライマリ・ケア連合学会
■ 総合診療専門医
- 外来診療予定 ■ 毎週月・火・木曜（午前）

message

平成28年に熊本大学を卒業し現在医師6年目です。総合診療科医師として人吉市・玉名市・多良木町など地域中核病院で総合診療/地域医療に従事してきました。総合診療科とは聞き慣れないことばとは思いますが、〇〇内科□□外科などの臓器別の専門家ではなく、患者ひとりひとり『あなたの』専門家です。何でも相談してもらえるような信頼関係を築いていきたいです。新たな土地で慣れない点もありますが、よろしくお願い致します。



呼吸器内科 非常勤医師

じょうだい たかゆき
城臺 孝之

外来診療予定 ■ 金曜（午前）

所属病院 ■ 熊本大学病院



腎臓内科 非常勤医師

はた ゆうすけ
秦 雄介

外来診療予定 ■ 金曜
※第4週を除く

所属病院 ■ 熊本大学病院



皮膚科 非常勤医師

くりやま はるか
栗山 春香

外来診療予定 ■ 水曜

所属病院 ■ 熊本大学病院

外来診察担当医表 ■一部の専門外来を除いて午前中のみ診療になります。緊急時は救急外来で対応いたします。
■当院は、「予約診療」(原則)です。電話予約の上の来院をお願いします。

一般外来 午前 受付時間 8:30～11:30 (診療時間 9:00～12:00) 午後 受付時間 13:00～16:30 (診療時間 14:00～17:00) 令和4年6月1日 (一は休診)

診療科		月	火	水	木	金	土
内科	午前	湯本 信也 平賀 円	平賀 円	湯本 信也 春木 紗良	平賀 円	湯本 信也 春木 紗良	—
	午後	—	湯本 信也 (在宅酸素療法外来のみ)	—	—	—	—
脳神経外科	午前	甲斐 豊	甲斐 豊	—	甲斐 豊	甲斐 豊	—
循環器内科	午前	石田 俊史	石田 俊史	宮本 信三	中嶋 直也 〔熊大病院循環器内科〕	宮本 信三	—
	午後	石田 俊史 (睡眠時無呼吸症候群外来のみ 14:00～16:00 ※1)	—	—	—	—	—
脳神経内科	午前	—	—	松原崇一朗 ※4 〔熊大病院脳神経内科〕	—	—	—
	午後	—	—	松原崇一朗 ※4 〔熊大病院脳神経内科〕	—	—	—
整形外科	午前	坂本 圭	坂本 圭	坂本 圭	湯上 正樹 〔熊大病院整形外科〕	—	—
	午後	—	—	—	湯上 正樹 〔熊大病院整形外科〕	—	—
リハビリ テーション科	午前	坂本 圭	坂本 圭	坂本 圭	湯上 正樹 〔熊大病院整形外科〕	甲斐 豊	—
	午後	—	—	—	湯上 正樹 〔熊大病院整形外科〕	—	—
消化器外科	午前	—	坂本 悠樹 近本 亮 (第2水曜の前日) 〔熊大病院消化器外科〕	近本 亮 (第2水曜を除く) 〔熊大病院消化器外科〕	坂本 悠樹	—	—
リウマチ 膠原病内科	午前	—	—	中村 正 (第4水曜) 〔桜十字病院〕	—	—	—
	午後	—	—	中村 正 (第3水曜) 〔桜十字病院〕	—	—	—
乳腺 内分泌外科	午前	岩瀬 弘敬 (月2回指定日)	—	—	—	—	—
	午後	岩瀬 弘敬 (～15:00月2回指定日)	—	—	—	—	—
糖尿病・代謝 ・内分泌内科	午前	—	—	—	八木 喜崇 〔熊大病院代謝内科〕	井形 元維 〔熊大病院代謝内科〕	—
	午後	—	—	—	八木 喜崇 〔熊大病院代謝内科〕	井形 元維 〔熊大病院代謝内科〕	—
血液内科	午後	宮川 寿一 (第2月曜)	—	—	—	—	—
腫瘍内科	午前	—	—	—	境 健爾 (第3木曜) 〔熊本医療センター〕	—	—
消化器内科	午前	具嶋 亮介 (11:00～) 〔熊大病院消化器内科〕	—	吉成 元宏 (11:00～) 〔熊大病院消化器内科〕	—	植原 哲史 (肝疾患) 〔熊大病院消化器内科〕	—
	午後	具嶋 亮介 (～15:00) 〔熊大病院消化器内科〕	—	吉成 元宏 (～15:00) 〔熊大病院消化器内科〕	—	植原 哲史 (肝疾患) 〔熊大病院消化器内科〕	—
呼吸器内科	午前	—	坂田 晋也 (9:30～) 〔熊大病院呼吸器内科〕	—	—	城臺 孝之 〔熊大病院呼吸器内科〕	—
耳鼻咽喉科	午前	—	—	—	熊大病院担当医	—	—
腎臓内科	午前	—	—	—	—	秦 雄介 (第4週を除く) (新患11:00～)	—
	午後	—	—	—	—	秦 雄介 (第4週を除く) 〔熊大病院腎臓内科〕 (14:00～15:00)	—
婦人科	午前	—	—	—	—	片渕 秀隆 (第2・4)	—
	午後	—	—	—	—	片渕 秀隆 (第2・4)	—
皮膚科	午前	—	—	栗山 春香	—	—	—
	午後	—	—	栗山 春香	—	—	—
歯科口腔外科	午前	—	高宗 康隆 ※2	高宗 康隆(再診のみ)	—	高宗 康隆 ※2	—
	午後	—	高宗 康隆 ※2	—	—	高宗 康隆 ※2	—
人工透析	午前	湯本 信也	湯本 信也	湯本 信也	湯本 信也	湯本 信也 (第3週) 秦 雄介 (第4週を除く) 〔熊大病院腎臓内科〕	伊達 亮佑 (第1土曜) 藤本 大介 (第2土曜) 松永 英士 (第3土曜) 栗原 孝成 (第4土曜) 〔熊大病院〕 湯本 信也 (第5土曜)

総合診療	午前	春木 紗良	平賀 円	井 清司	石井 健裕 (石田 俊史)	佐土原 道人
------	----	-------	------	------	------------------	--------

※ご来院時に患者さんの症状に対応できる診療科の診療が行われていない場合にご案内致します。

小児外来 午前 受付時間 8:30～11:30 (診療時間 9:00～12:00) 午後 受付時間 13:00～18:00 (診療時間 14:00～18:15)

診療科		月	火	水	木	金
小児科	午前	橋山 元浩	熊本大学担当医	橋山 元浩	橋山 元浩	橋山 元浩
	午後	橋山 元浩	熊本大学担当医 16:30受付終了	橋山 元浩	橋山 元浩	橋山 元浩
小児科 専門外来	午前	—	—	上土井 貴子 (第2・4水曜) ※3	—	—
	午後	—	—	上土井 貴子 (第2・4水曜) ※3	—	—

※1…受付時間 13:00～15:30 (診療時間 14:00～16:00)
※2…予約制です。また、紹介状 (かかりつけの歯科医院等から発行していただく。) をお持ちでない患者さんは受診できません。
※3…原則、小学生までの受入れ。ただし、紹介状が有る場合は中学生まで受入れ。
※4…予約制です。前日 17:15 までに予約の電話をお願い致します。

新入職員紹介

きりはら ももか
桐原 桃香

看護部 ▶ 看護師

看護師として2階
病棟に配属となりま
した桐原桃香です。

私は、絵を描く事や家族と出かける事が大好きです。幼い頃からずっと看護師になりたいという夢が叶い、阿蘇の大自然の中で働ける事に嬉しさで感謝でいっぱいです。新人ですのでご迷惑をおかけする事が多々あるかと思いますが、何事にも積極的に取り組み一人一人の患者様に寄り添い、信頼と安心感を与えられるよう日々励んでいきます。よろしくお願い致します。

やまもと さやか
山本 彩香

看護部 ▶ 看護師

看護師として2階
病棟に配属になりま
した山本彩香です。

趣味は映画やドラマの鑑賞です。看護師としては、新人ですのでご迷惑をおかけかと思いますが、これから様々な知識や技術を身につけて患者様のために最善を尽くせるように頑張ります。よろしくお願い致します。

むらやま けんいち
村山 健一

事務部 ▶ 事務員

4月1日から事務
部長兼総務課長を拝
命しました村山健一

です。これまでは、市役所本庁にて情報化・税・防災・総務・選挙の仕事に携わって参りました。4月からは、全く初めての病院事業分野に関わらせていただくこととなり、浅学寡聞ではございますが、住民の皆様様の健康の維持と福祉の向上に、一日も早くお役に立てるよう努めて参ります。よろしくお願い致します。

ごとう ゆきな
後藤 優希奈

看護部 ▶ 看護師

看護師として3階
病棟に配属になりま
した後藤優希奈です。

出身は熊本市です。趣味は音楽鑑賞と動画鑑賞をすることです。看護師としてまだまだ未熟ですが、これから看護技術や知識を身につけ、少しでも早く貢献できるよう毎日励んでいきたいと思っています。よろしくお願いします。

おの ゆかり
小野 由香理

看護部 ▶ 看護師

看護師として3階
病棟に配属になりま
した小野由香理です。

出身が阿蘇であるため、医療を通じて地元へ貢献できることを非常に嬉しく思います。新人なので、ご迷惑をおかけすることもあるかとは思いますが、一日も早く貢献できるよう日々励んでいきます。よろしくお願い致します。

やまきた るか
山北 琉華

看護部 ▶ 看護師

看護師として3階
病棟に配属になりま
した山北琉華です。

出身は熊本市です。趣味は、韓国ドラマを見ることです。社会人1年目で何かとご迷惑をおかけすることが多々あるかと思いますが、1日でも早く患者様の目線に立った質の良い看護を提供出来るよう日々精進していきたいと思っております。よろしくお願い致します。

まるやま はやて
丸山 颯

事務部 ▶ 事務員

本年度から一般事
務職医療情報係に配
属となりました丸山

颯です。出身は阿蘇です。趣味は体を動かすことです。高校生時代に陸上競技部に所属し跳躍競技を専門としていました。また学科は商業科に所属し、そこで得たパソコンや情報の知識を少しでも活かせるように真剣に業務に励みたいと思っております。これから地域の中核病院である阿蘇医療センターの一員としての意識を持ち最善を尽くせるよう頑張りますので、何卒よろしくお願い致します。

のだ かほ
野田 華穂

看護部 ▶ 看護師

看護師として2階
病棟に配属になりま
した野田華穂です。

出身は熊本市です。阿蘇のきれいな景色、星空を毎日体感しています。コロナが落ち着いたらアウトドアを満喫したいです。皆様と共に地域の方々に貢献できるように誠心誠意頑張りますのでよろしくお願いします。

かわの せいり
河野 聖涙

看護部 ▶ 看護師

看護師として2階
病棟に配属となりま
した河野聖涙です。

出身は合志市です。趣味は音楽を聴くことやアニメを見る事です。新社会人、新人看護師ですので至らない点も多々あり、ご迷惑をおかけする事もあるかと思いますが早く看護師としての業務に慣れ貢献できるよう励みたいと思っております。よろしくお願いします。

たのうえ きお
田上 貴央

医療技術部 ▶ 放射線技師

診療放射線技師と
して入職しました田
上貴央です。

趣味は野球観戦です。日々、試合や結果の速報を見て一喜一憂しています。現在、新たな趣味を模索中です。生活面では、料理のレパートリーを増やして健康的に過ごしたいと思っております。仕事面では、まずしっかり知識と技術を習得し、向上させながら地域の皆さんに貢献できるように励みたいと思っております。よろしくお願い致します。

かわじ ちあき
川路 千咲

事務部 ▶ 事務員

事務職として入職
致しました川路千咲
です。出身は阿蘇で

す。趣味は音楽鑑賞で主に邦楽を聴いています。地元阿蘇に貢献出来ることをとても嬉しく思います。社会人として経験も浅くご迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますが、患者様や地域の皆様方の力に早くなれるよう日々精進していきたいのでよろしくお願い致します。

心不全療養指導士^の紹介

心不全療養指導士は、日本循環器学会が認定する2021年度から開始された資格です。

心不全の発症・重症化予防のための療養指導に従事する医療専門職に必要な基本的知識および技能など資質の向上を図ることを目的としています。

病院に限らず在宅をはじめとした地域など様々な場面で幅広く活動し、心不全におけるチーム医療を展開していくことで、心不全による憎悪・再入院予防、そして生活の質の改善を図ることを目指して、多種の専門職が取得できる資格となっています。

今回、心不全療養指導士の資格を取得しました。

心不全は発症するとずっと付き合っていかなければならない疾患です。超高齢化社会を迎え心不全の患者さんは増加傾向にあります。

患者さんだけでなく家族や介護者の方とも協力しながら病状が悪化しないようサポートし、阿蘇地域での心不全治療に貢献できたらと思っています。

薬剤師 / 佐藤 みづき

今回、心不全療養指導士の資格を取得しました。

心不全は完治しない疾患で、自己モニタリングをはじめとした自己管理が重要になります。心不全の患者さんが増加しつつある中、当院でも2021年度から心不全チームが設置されました。ハートノートというシステムツールを導入し、心不全による再入院を予防する取り組みを開始しました。

心不全療養指導士として、入院中に患者さんや家族に心不全に関する理解を深めていただき、退院後も適切な療養を可能にし、生活機能が低下しないようサポートしたいと思っております。

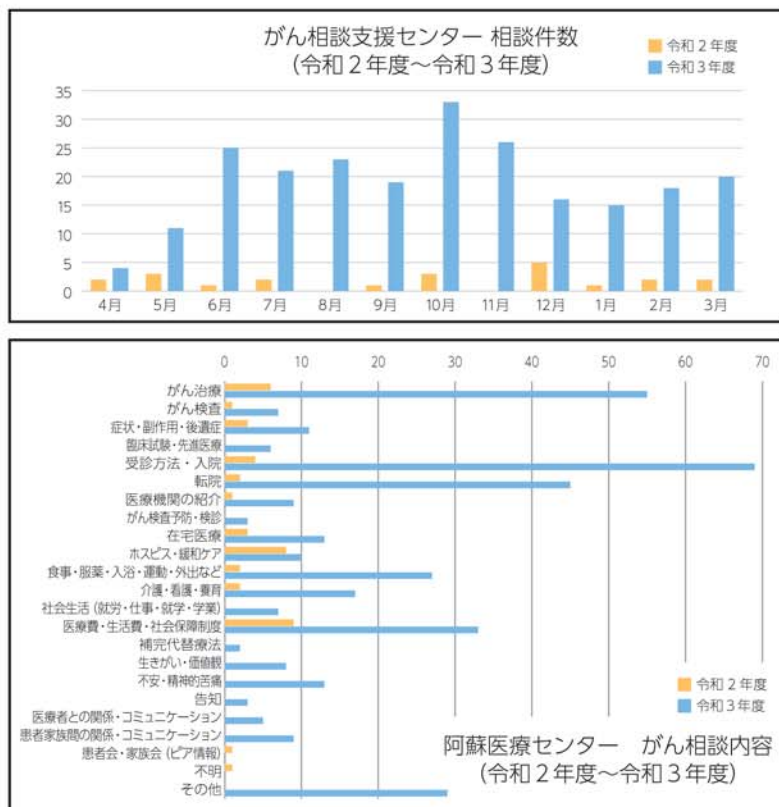
薬剤師 / 遠山 潤

熊本県指定がん診療連携拠点病院としての取り組み

当院は、令和2年4月に熊本県指定がん診療連携拠点病院に指定されました。

がん診療に関しては指定前から、熊本大学病院及び関連病院からの派遣専門医による支援・指導を受け、外来化学療法・がん相談支援・緩和ケアチーム・カンサーボード・院内がん登録・がんサロン『笑がお』の開設等の活動のほか、院内及び地域の医療関係者を対象としたがん医療に関する研修会の開催等に取り組んでいます。活動実績の一部として、がん相談支援センターの令和2年度から3年度のデータを掲載しました。

現在、新型コロナの影響でがんに関する受診や健診の件数も減少傾向にありますが、熊本大学病院をはじめ県内のがん診療連携拠点病院並びに地域医療機関との連携を通して、拠点病院としての機能充実に更に努めてまいります。



骨折リエゾンサービス (FLS:Fracture Liaison Service) チームの活動

骨粗鬆症とは簡単に言うと、骨がもろくなることで骨折のリスクが高くなる骨の障害のことです。なぜ骨がもろくなるかといいますと、骨は実は代謝される臓器で、古くなった骨を壊し、新しい骨を作るように循環されていますが、特に女性は閉経後から、ホルモン(エストロゲン)がなくなることによって相対的に骨が壊される割合が増え、骨がもろくなっていきます。(男性にもあります)

80歳以上の女性の半分は骨粗鬆症と言われています。

骨粗鬆症による骨折、特に大腿骨近位部骨折、胸腰椎圧迫骨折は予後が悪い疾患です。また一度骨折を起こした方は2年以内に再骨折を起こす確率が3倍近くになります。さらに、骨折などで入院した場合は入院費(医療費)がかかりますが、日本ではここ5年で骨折だけ増加している現状があります。原因としては、内科的疾患においては薬物介入などで本人の意識もあり、治療継続されることである程度維持ができますが、骨折に関しては死亡へすぐには直結しないこともあり、治療

が不完全なまま終了し、再骨折の連鎖でADLが低下、誤嚥性肺炎や褥瘡などのリスクが高くなっていくことにあります。

では、骨粗鬆症の治療で内服や注射だけすれば良いかというと、そういうことはありません。足の筋力を落とさないための日頃の運動や、骨がもろくならないための栄養など多方面でのサポートが

必要になっていきます。私たち阿蘇医療センターFLSチームは医師だけでなく、歯科医師、薬剤師、看護師、理学療法士、管理栄養士、社会福祉士などでチームを編成し、院内プロトコルを作成して、患者様の実情に

合わせた治療を行います。

新たな骨折を起こさない、骨粗鬆症治療を継続させるという目標の下、活動を行っております。コロナ禍でもありますが、阿蘇地域の先生方とも協力して骨粗鬆症治療を行っていきたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

※リエゾンとは連携・橋渡しという意味です



認知症ケアチームの活動

認知症は誰にでも起こりうる脳の病気で、65歳以上の認知症の人は平成24年時点で7人に1人、令和7年には約5人に1人になるといわれています。阿蘇市の人口高齢化率は40.4%と高い現状を考えると、認知症を有した患者さんは今後右肩上がりが増加してくることが予測されます。さらに、高齢者が陥りやすい症状としてせん妄があげられます。せん妄とは感染症や脱水、薬剤の変更等に加えて、傷の痛みや入院による環境の変化により、時間や場所がわからなくなる見当識障害という症状や、思考力の低下等の一時的に認知症に似た症状が出るのが特徴です。入院された高齢の患者さんがせん妄を起こす割合は20%とされており、入院当初から予防をすることが必要です。

このような現状を踏まえて当院は、平成29年より認知症ケアチームを立ち上げました。メンバーは認知症看護認定看護師をはじめ医師、看護師、

社会福祉士、作業療法士、薬剤師の多職種で構成されています。活動内容は毎週1回話し合いや巡回を行い、ご本人の訴えやリハビリ状況を確認しながら、せん妄対応や認知症症状の改善に力を入れています。

また、平成27年の新オレンジプランでは認知症の人の意志を尊重することや、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続ける社会の実現が、基本的な考え方として発表されました。実現するための7つの施策の中には、認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進、認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進が掲げられています。当院では、地域住民や関係施設への出前講座を開設し、認知症の基本知識から介護の要領、せん妄の知識の普及等を行っています。地域作りの視点では認知症疾患医療センターをはじめ、地域包括支援センター等の関係機関との連携や、高齢者ドライバーの事故防止の取り組み等を行っています。

今後も地域における認知症疾患やせん妄症状の改善にチームで取り組んでまいります。

阿蘇中部地域在宅医療サポートセンターの事業活動

当院は、令和2年4月に県から地域在宅医療サポートセンター（基幹型）の指定を受けております。在宅医療を推進するにあたり、在宅医療に関する多職種研修の企画や情報提供、連携の調整等を行っております。阿蘇圏域をはじめ各地域と連携、情報交換を推進し事業展開に活かしてまいります。今年度もご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

令和3年度 阿蘇中部地域サポートセンター研修会報告

- ・令和3年5月25日「高齢者施設の感染防止対策」
- ・令和3年12月21日「認知症疾患の理解と地域連携」
- ・令和4年3月30日「人生の最終段階に受けたい医療的ケアを考える」

についてWeb研修会を開催いたしました。阿蘇全域から多くのご参加をいただきありがとうございました。

令和4年度の研修会予定

感染防止・看取り・口腔・皮膚/排泄・喀痰吸引をテーマとした研修会の開催を検討しております。

研修内容等のご希望がございましたら、下記連絡先までご相談ください。

ACP/終末期医療について

阿蘇在宅医療システム研究会と協働して、阿蘇中部地域を対象としたエンディングノートの作成と普及啓発に取り組んでいます。



在宅医療に関する相談窓口

ケアマネジャーや訪問看護/訪問介護といった、サービス提供者からの相談、情報提供、環境整備などの相談に対応しております。

介護職員等 医療的ケア研修受講希望者募集

施設や訪問介護の業務に従事している介護職員を対象に、喀痰吸引等医療的ケアに関する講習会の開催を調整します。

連絡先

阿蘇中部地域在宅医療サポートセンター 阿蘇医療センター在宅医療相談員：山角 (yamakaku-t@aso-mc.jp)

感染対策

職員の対応

当院では、患者様の安全を第一に考えスタッフが感染を伝播させないように対策をとっています。具体策として、サージカルマスクを常時着用し患者様に対応しています。また、患者様がすぐに手指消毒ができるようにアルコール手指消毒薬を院内各所に追加で設置し、職員は手指消毒薬を常時携帯しています。

現在、新型コロナウイルスのワクチン接種については阿蘇市や阿蘇保健所などと連携し、接種を行っています。接種後の副反応発生時の対応や市民の不安が軽減できるように取り組んでまいります。

病院への立入りについて

当院への立入りについては、全ての方を対象に体温測定を行っております。

また、入院患者様への面会は令和2年3月以降引き続き禁止としています。物品の受渡しなどは職員が対応しておりますのでご了承のほどよろしくお願いいたします。

現在面会制限を行っており、多大なご迷惑をおかけしておりますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

オンラインでの面会について

入院患者様への感染拡大防止対策による面会制限が長期化していることから、通信機器（タブレット）を利用した「オンライン面会」を実施しております。 ※オンライン面会は完全予約制としております。

利用日時 月曜日～金曜日（平日のみ）午後2時～午後3時

面会時間 10分まで

予約方法 面会希望日の前日までに予約センター（0967-34-0319）に申込み願います。

面会方法 通信機器（タブレット）を介して面会していただきます。

診療予約・変更・お問い合わせ

- 予約や変更等についてのお問い合わせ

外来予約センター ☎ 0967-34-0319
(平日 8:30～17:15)

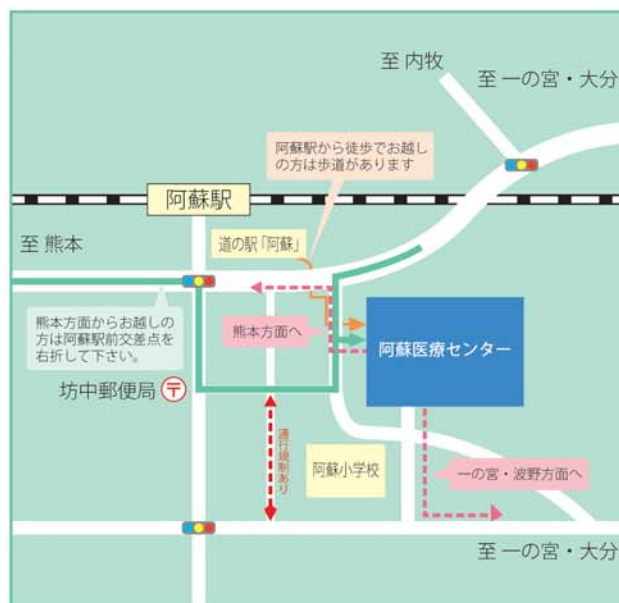
- その他、診療や連携に関する各種お問い合わせや相談

地域医療連携室 ☎ 0967-34-0463

今月の
表紙

医局での一枚です。（常勤医師）

後列左から春木紗良医師、橋山元浩医師、宮本信三医師、坂本悠樹医師、坂本圭医師。前列左から湯本信也副院長、石田俊史医師、甲斐豊院長、平賀円医師。 — 広報委員会事務局 —



阿蘇医療センター

〒869-2225 熊本県阿蘇市黒川 1266
TEL 0967-34-0311 (代表) FAX 0967-34-2273
<https://www.aso-mc.jp>



スマートフォン等にてバーコード読み取りでホームページ閲覧ができます